

4.2 対外的発表

4.2.1 論文など

3.1.2

著者	題名	発表先	発表年月日
大大特制御震源地殻構造探査運営委員 (発表者、伊藤 潔)	大大特・近畿圏地殻構造探査計画	日本地震学会秋季大会講演会	2004年 10月
K. Ito, T. Ueno, B. Enescu, I. Hirose	Crustal structure and its relation to seismicity in Southwest Japan	11th International Symposium on Deep Structure of the Continents and their Margin Seismic (in Canada)	2004年 9月
K. Ito, T. Ueno	Seismogenic Layer and reflections in the crust in Japanese Island	3 rd Intl. Conference on Continental Earthquakes (in China)	2004年 7月
T. Ueno, T. Shibutani, I. Doi, K. Ito	Lower crust and upper mantle structure in the region of the 2000 Western Tottori, Japan Earthquake estimated from receiver function analyses	AGU Fall meeting	2004年 12月
伊藤 潔・佐藤比呂志・松村一男・澁谷拓郎・廣瀬一聖・上野友岳・大大特地殻構造調査運営委員会	近畿圏における大大特プロジェクトの地下構造調査	京都大学防災研究所研究発表講演会	2005年 2月
廣瀬一聖・伊藤 潔・森下可奈子・野口竜也・板場智史	大大特・地殻構造探査における関連データのデータベース化とGISの利用	京都大学防災研究所研究発表講演会	2005年 2月
上野友岳・澁谷拓郎・伊藤 潔	西南日本におけるモホ不連続面とフィリピン海プレートの形状について	京都大学防災研究所研究発表講演会	2005年 2月
西村和浩・中尾節郎・辰己賢	大大特：紀伊半島における自然地震観測～観測システム	京都大学防災研究所研究発表講演会	2005年 2月

一・三浦勉・平野憲雄・山崎友也・富阪和秀・福嶋麻沙代・吉田義則・細善信・松浦秀起・澁谷拓郎・伊藤潔・大見士朗・廣瀬一聖・森下可奈子	とデータ処理の概要～		
---	------------	--	--

3.1.3

著者	題名	発表先	発表年月日
佐藤比呂志・平田直・岩崎貴哉・瀨瀨一起・伊藤谷生・笠原敬司・伊藤潔・河村知徳・井川猛・川中卓・阿部進	大都市圏地殻構造調査・関東山地東縁地殻構造探査について	地球惑星科学関連学会合同大会、幕張	平成16年5月12日
H. Sato, N. Hirata, T. Iwasaki, K. Koketsu, T. Ito, K. Kasahara, K. Ito, T. Ikawa, T. Kawanaka, M. Onishi, S. Abe, H. Saito, D. Okaya, T. Kawamura, S. Harder, K. Miller	Deep seismic profiling in the Tokyo metropolitan area for strong ground motion prediction	International Workshop on Strong ground motion prediction and earthquake tectonics in urban areas.	平成16年6月22日

H. Sato, N. Hirata, T. Iwasaki, K. Koketsu, T. Ito, K. Kasahara, K. Ito, T. Ikawa, T. Kawanaka, M. Onishi, S. Abe, D. Okaya, S. Harder	Deep seismic profiling in the greater Tokyo metropolitan area for strong ground motion prediction	32th International Geological Congress	平成 16 年 8 月 27 日
佐藤比呂志・平田直・岩崎貴哉・瀨瀨一起・伊藤谷生・笠原敬司・伊藤潔・井川 猛・大西正純・川中卓・阿部 進・斉藤秀雄	大深度地震探査による関東地震発生域の地殻構造	日本地質学会 第 111 年 学術大会	平成 16 年 9 月 20 日
H. Sato, N. Hirata, T. Iwasaki, K. Koketsu, D. Okaya, T. Ito, T. Ikawa , K. S. Abe, T.Kawanaka, Kasahara, K. S. Harder	Imaging of the earthquake source fault beneath the Tokyo metropolitan region by deep seismic profiling	11th International Symposium of Deep seismic profiling of the continents and their margins	平成 16 年 9 月 27 日
佐藤比呂志・平田直・瀨瀨一起・岩崎貴哉・小林励司・D. Okaya ・笠原敬司・松原	関東地域におけるフィリピン海プレート上面の形状と反射特性	2004 年日本地震学会 秋季大会	平成 16 年 10 月 10 日

誠・伊藤谷生・ 伊藤 潔・井川 猛・川中 卓・ 阿部 進			
---------------------------------------	--	--	--

3.1.4

著者	題名	発表先	発表年月日
澁谷拓郎・伊藤 潔・大見士朗・ 他	大大特：紀伊半島における自然地震観測－観測の目的と概要－	京大防災研研究発表講演会	平成 17 年 2 月 22 日
西村和浩・中尾 節郎・辰己賢 一・他	大大特：紀伊半島における自然地震観測～観測システムとデータ処理の概要～	京大防災研研究発表講演会	平成 17 年 2 月 22 日

3.1.5

論文発表

著者	題名	発表先	発表年月日
芹澤正人・橋本 信一・羽田敏 夫・小林勝・五 十嵐俊博	常時接続型通信回線を用いた地震観測点の設置技術とセキュリティ	東京大学地震研究所技術研究報告, 第 10 号, 32-42	平成 16 年

口頭発表、その他

著者	題名	発表先	発表年月日
五十嵐俊博・平 田直・小林 勝・羽田敏夫・ 橋本信一・芹澤 正人	房総半島縦断稠密地震観測 (2)	地球惑星科学関連学会合同大会、幕張	平成 16 年 5 月 11 日
T. Igarashi, N. Hirata, D. Okaya, H. Sato, J. Park	Receiver function analysis in and around the Boso-Peninsula, Central Japan	American Geophysical Union Fall Meeting, American Geophysical Union, San Francisco	平成 16 年 12 月 16 日

3.2.2

論文発表

著者	題名	発表先	発表年月日
林 広樹・栗原 行人・酒井豊三 郎	浮遊性有孔虫および貝類化石 に基づく宇都宮丘陵地域に分 布する海成中新統の年代対比	石油技術協会誌、第 69 卷	平成 16 年 7 月
林 広樹・他	関東平野地下に分布する新第 三系の層序と対比	石油技術協会誌、第 69 卷	平成 16 年 7 月
林 広樹・ 高橋雅紀・ 笠原敬司	関東平野の地下における新第 三系の分布	石油技術協会誌、第 69 卷	平成 16 年 9 月
山田隆二・ 林 広樹・ 笠原敬司	栃木県鬼怒川低地の西縁およ び地下に分布する珪長質軽石 凝灰岩の F T 年代測定	フィッショントラックニ ュースレター、第 17 号	平成 16 年 9 月
林 広樹・ 他	茨城県大洋村におけるパイブ ロサイス反射法探査：棚倉構 造線南方延長に関連して	地震 2、第 5 8 卷	平成 17 年 (印刷中)

口頭発表、その他

著者	題名	発表先、主催、発表場所	発表年月日
林 広樹・他	茨城県大洋村におけるパイブ ロサイス反射法探査：棚倉構 造線南方延長に関連して	2004年地球惑星科学合同 大会、合同学会機構、千 葉市幕張メッセ	平成 16 年 5 月 10 日
久田健一郎・太 田佳奈子・棚瀬 充史・林広樹	関東平野北東部基盤岩中にお ける中央構造線：江戸崎観測 井の先新第三系の帰属問題	2004年地球惑星科学合同 大会、合同学会機構、千 葉市幕張メッセ	平成 16 年 5 月 9 日
M. Takahashi, et al.	Miocene subsurface half-grabens in the Kanto Plain, central Japan	International Workshop of Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas ERI, DPRI, NIED and MEXT ERI(Tokyo, Japan)	平成 16 年 6 月 21 日
林 広樹・他	栃木県中央低地の坑井におけ る微化石層序	日本古生物学会 2004 年 年会、日本古生物学会、 北九州市	平成 16 年 6 月 27 日
H. Hayashi, et al.	Subsurface geology of the intra-arc basin of the Northeast Honshu Arc, central Japan; a case study near the Tokyo	The 32nd International Geological Congress, IUGS, Florence (Italy)	平成 16 年 8 月 21 日

	metropolitan area		
林 広樹・他	関東地震発生域直上における2000m級陸上掘削の層序－大大特(I)大規模ボーリング掘削の成果－	日本地質学会第111年学術大会、日本地質学会、千葉市	平成16年9月19日
高木秀雄・鈴木宏芳・濱本拓志・高橋雅紀・林 広樹	関東平野の岩槻観測井および松伏坑井基盤岩の帰属と中央構造線の位置	日本地質学会第111年学術大会、日本地質学会、千葉市	平成16年9月19日
笠原敬司・林 広樹	伊豆－丹沢衝突域に未発見A級活断層の存在確実－神奈川県山北町における2000m掘削速報	日本地質学会第111年学術大会、日本地質学会、千葉市	平成16年9月20日
林 広樹・他	神奈川県山北町の島弧衝突域における陸上掘削の速報－大大特(I)大規模ボーリング調査の成果－	日本地震学会2004年度学術大会、日本地震学会、福岡市	平成16年10月11日
林 広樹・笠原敬司・須田茂幸・川中卓	栃木県鬼怒川低地を横断するバイブロサイス反射法地震探査	日本地震学会2004年度学術大会、日本地震学会、福岡市	平成16年10月11日
林 広樹・笠原敬司・木村尚紀・堀内誠示	千葉県銚子半島の坑井における微化石層序－名洗層中の不整合に関連して－	日本古生物学会第154回例会、日本古生物学会、山形市	平成17年1月22日

3.2.3

著者	題名	発表先	発表年月日
S. Sekiguchi, et al.	Borehole drilling above the descending Philippine Sea plate at the southern Kanto Area, Japan, and the geological interpretation of the core samples	International Workshop of Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas ERI, DPRI, NIED and MEXT ERI(Tokyo, Japan)	平成16年6月22日
木村尚紀・他	相模トラフ周辺におけるフィリピン海プレート上面の詳細な形状	日本地震学会2004年度学術大会、日本地震学会、福岡市	平成16年10月10日
松原 誠・林 広樹・小原一	関東地方における太平洋・フィリピン海プレート最上部の	日本地震学会2004年度学術大会、日本地震学会、	平成16年10月11日

成・笠原敬司	低速度海洋性地殻	福岡市	
松原 誠・林 広樹・小原一 成・笠原敬司	関東地方における太平洋・フ ィリピン海プレート最上部の 低速度海洋性地殻	日本地震学会 2004 年度 学術大会、日本地震学会、 福岡市	平成 16 年 10 月 11 日

3.2.4

著者	題名	発表先	発表年月日
柳沢幸夫・高橋 雅紀・林 広樹・ 渡辺真人・田中 裕一郎	大深度ボーリング試料に よる地質年代調査	大都市大震災軽減化特別プ ロジェクト I 地震動（強い 揺れ）の予測「大都市圏地 殻構造調査研究」（平成 15 年度）成果報告書， pp. 322-366	平成 16 年 5 月
高橋雅紀・柳沢 幸夫	埼玉県比企丘陵に分布す る中新統の層序-複合年代 層序に基づく岩相層序の 総括-	地質学雑誌, Vol. 110, pp. 290-308	平成 16 年 5 月
M. Takahashi, Y. Yanagisawa, H. Hayashi, K. Kasahara, T. Ikawa, S. Kananaka, S. Suda,	Miocene subsurface half- grabens in the Kanto Plain, central Japan.	Proc. Intern. Workshop, Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas	平成 16 年 6 月
T. Takahashi, Y. Yanagisawa, T. Okada	K-Ar ages of the Shogunzawa and Okuda Tuff beds in the Miocene marine sequence in the Iwadono Hills, central Japan.	石油技術協会誌, Vol. 69, pp. 284-290.	平成 16 年 6 月
林 広樹・笠原 敬司・柳沢幸 夫・渡辺真人・ 高橋雅紀・堀内 誠示	栃木県中央低地の坑井に おける微化石層序	日本古生物学会 2004 年年 会	平成 16 年 6 月
林 広樹・堀内 誠示・高橋雅	関東平野地下に分布する 新第三系の層序と対比	石油技術協会誌, Vol. 69, pp. 404-416.	平成 16 年 7 月

紀・笠原敬司			
林 広樹・高橋雅紀・笠原敬司	関東平野の地下における新第三系の分布	石油技術協会誌, Vol. 69, pp. 574-586.	平成 16 年 9 月
林 広樹・笠原敬司・山水史生・関口涉次・柳沢幸夫・高橋雅紀・渡辺真人	関東地震発生域直上における 2000m 級陸上掘削の層序-大大特 (I) 大規模ボーリング掘削の成果	日本地質学会第 111 年学術大会	平成 16 年 9 月

3.3.2

著者	題名	発表先	発表年月日
木村治夫・佐藤比呂志・伊藤谷生・宮内崇裕・松多信尚・河村知徳・石山達也・岡田真介・加藤直子・荻野スミ子・楳原京子・小田 晋・石黒 梓・長谷川悟・上条裕久・駒田希充・丸山友章・坂下尚久・森 智之・佐野順平・野田克也・井川 猛	反射法地震探査からみた国府津-松田断層帯松田北断層の地下構造	日本地質学会第 111 年学術大会	平成 16 年 9 月 19 日
木村治夫・佐藤比呂志・伊藤谷生・宮内崇裕・松多信尚・河村知徳・石山達也・岡田真介・加藤直子・荻野スミ子・楳原京子・小田 晋・	国府津-松田断層帯松田北断層における P 波浅層反射法地震探査	日本地震学会 2004 年度秋季大会	平成 16 年 10 月 11 日

石黒 梓・長谷川悟・上条裕久・駒田希充・丸山友章・坂下尚久・森 智之・佐野順平・野田克也・井川猛			
--	--	--	--

3.3.3

著者	題名	発表先	発表年月日
T. Nakata, K. Shimazaki, M. Okamura, T. Miyauchi, H. Matsuoka, K. Takada, H. Kaneda	Searching geological evidence for paleoseismic events in urbanized areas	International Workshop on Strong Ground Motions and Earthquake Tectonics in Urban Areas	平成 16 年 6 月
K. Takada, T. Nakata	Improvement of Handy Geoslicer for more effective use in paleoseismological studies	HOKUDAN International Symposium on Active Faulting	平成 17 年 1 月

3.3.4

著者	題名	発表先	発表年月日
Y. Tanioka, K. Satake	Tsunami analysis for the 1923 great Kanto earthquake	AOGS 1 st Annual meeting 2004	平成 16 年 7 月 7 日
谷岡勇市郎・佐竹健治	1923 年関東地震の津波波形解析	歴史地震研究会	平成 16 年 9 月 17 日
T. Sagiya	Crustal deformation in the Kanto District, central Japan, following the 2000 seismo-volcanic activity of the Izu Islands	AGU 2004 Fall Meeting	平成 16 年 12 月 13 日
山中佳子	1944 年東南海地震の再解析	日本地震学会 2004 年秋季大会	平成 16 年 10 月 10 日
山中佳子	2004 年紀伊半島南東沖地震の震源過程	日本地震学会 2004 年秋季大会	平成 16 年 10 月 10 日

山中佳子	2004年紀伊半島南東沖地震の震源過程	歴史地震研究会	平成16年 9月17日
山中佳子	1944年東南海地震と1945年三河地震の震源過程	月刊地球, 305	2004年
T. Hayakawa, T. Furumura Y. Yamanaka	Simulation of strong ground motions caused by the 2004 off the Kii peninsula earthquakes	Earth Planets Space, 57, 191-196	2005年
吉田康宏・高濱聡・針生義勝・國友孝洋・熊澤峰夫	広域地震観測網によるアークロス信号観測とその解析(その3)ー第5回試験送信の解析結果ー	日本地震学会 2004年秋 季大会	平成16年 10月10日
笠原順三・鶴我佳代子・羽佐田葉子・山岡耕春・國友孝洋・渡辺俊樹・吉田康宏・藤井直之・熊澤峰夫	沈み込むプレート境界の連続的アクティブ・モニタリングの提案	日本地震学会 2004年秋 季大会	平成16年 10月10日
山崎明・吉田康宏・青木重樹・吉川澄夫・阿部正雄・大野浩史・長田芳一	熊野灘東方沖における海底地震観測(速報)	日本地震学会 2004年秋 季大会	平成16年 10月11日
Y. Ishikawa	Tectonics in East Asia and the new plate boundary	第三回大陸地震国際ワークショップ(ICCCⅢ)主催 中国地震局	平成16年 7月14日
石川有三	新プレート境界と関東南部のテクトニクス	日本地震学会 2004年秋 季大会	平成16年 10月10日
Y. Ishikawa	Seismotectonics in East Asia	International Workshop on Geodynamics: Observation, Modeling, and Computer Simulation	
Y. Ishikawa	The new plate boundary south off Kanto, Japan	アジア地震委員会総会	平成16年 10月19日

3.3.5

著者	題名	発表先	発表年月日
都司嘉宣・上田和枝・伊藤純一	領主別被害合計資料から被害が起きた個々の集落を推定する手法—元禄地震(1703)の詳細震度分布推定研究への応用	第 21 回歴史地震研究会	平成 16 年 9 月 18 日
K. Kanda, M. Takemura	Inversion analysis of historical interplate earthquake using seismic intensity data	International Workshop on Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas	平成 16 年 6 月 21 日
神田克久・武村雅之・諸井孝文	1923 年関東大地震の震度インバージョン解析	日本建築学会 2004 年度大会	平成 16 年 8 月 29 日
神田克久・武村雅之・宇佐美龍夫	震度インバージョン解析による 1923 年関東地震と 1703 年元禄地震の短周期発生域の比較	日本地震学会 2004 年度秋季大会	平成 16 年 10 月 9 日
境有紀・中村友紀子・瀬瀬一起・小杉慎司・大月俊典	2003 年十勝沖地震における強震観測点周辺の建物被害と地震動との対応性	近年の地震被害におけるコンクリート構造物の耐震性能の評価に関する研究委員会 報告書・論文集, 日本コンクリート工学会	平成 16 年 7 月
境有紀・中村友紀子	1994 年ノースリッジ地震の建物被害データと強震記録を用いた地震動の破壊力指標の検討	日本建築学会構造系論文集, 第 584 号, 59-63	平成 16 年 10 月
境有紀・神野達夫・瀬瀬一起	震度の高低によって地震動の周期帯を変化させた震度算定法の提案	日本建築学会構造系論文集, 第 585 号, 71-76	平成 16 年 11 月
境有紀	2004 年新潟県中越地震で発生した地震動と観測点周辺の被害	記念シンポジウム「日本の強震観測 50 年」—歴史と展望—	平成 16 年 11 月 9 日
境有紀・小杉慎司・大月俊典・中村友紀子	強震動と建物被害	平成 16 年新潟県中越地震被害調査報告会梗概集	平成 16 年 12 月 21 日
境有紀	強震観測点近傍の建物被害	平成 16 年新潟県中越地震第一次調査団調査速報, 土木学会	平成 17 年 1 月 11 日

3.3.6

著者	題名	発表先	発表年月日
R. Ando, T. Tada, T. Yamashita	Dynamic evolution of a fault system through interactions between fault segments	J. Geophys. Res., 109(B5), B05303, doi:10.1029/2003JB002665	2004 年
Y. Hisada, J. Bielak	Effects of Sedimentary Layers on Directivity Pulse and Fling Step	Proc. of the 13th World Conference on Earthq. Eng., No.1736,	2004 年
S. Ide, M. Matsubara, K. Obara	Exploitation of high-sampling Hi-net data to study seismic energy scaling: The aftershocks of the 2000 Western Tottori, Japan, earthquake	Earth Planets Space, 56, 859-871, 2004.	2004 年
加瀬祐子・杉山雄一・関口春子・堀川晴央・石山達也・佐竹健治	活断層情報から推定した不均質応力場中の六甲・淡路断層系の動的破壊過程: 1995 年兵庫県南部地震との比較	活断層・古地震研究報告, No. 4, p. 163-175,	2004 年
K. Koketsu., K. Hikima, S. Miyazaki, S. Ide	Joint inversion of strong motion and geodetic data for the source process of the 2003 Tokachi-oki, Hokkaido, earthquake	Earth Planets Space, 56, 329-334, 2004.	2004 年
T. Miyatake, Y. Yagi, T. Yasuda	The dynamic rupture process of the 2001 Geiyo, Japan, earthquake,	Geophysical Research Letters, Vol.31, No.12, 10.1029/2004GL019721.	2004 年
T. Yamada, J. J.Mori, S. Ide, H. Kawakata, Y. Iio, H. Ogasawara	Radiation efficiency and apparent stress of small earthquakes in a South African gold mine	Journal of Geophysical Research, 110, 10.1029/2004JB003221, 2005.	2004 年
Y. Yoshimi, T. Miyatake H. Higashihara	A method for determining asperity parameters producing specific maximum ground motion	Proc. of the 13th World Conference on Earthq. Eng., No.395	2004 年

口頭発表

著者	題名	発表先	発表年月日

安藤 亮輔・ 亀 伸樹・ 山下 輝夫	動弾性境界積分方程式法による非平面断層解析の漸近表現を用いた高速解法,	地球惑星科学関連合同大会, 幕張メッセ	平成 16 年 5 月
安藤亮輔・ 山下輝夫	断層帯の微細幾何構造と破壊過程の動的相互作用 (1): 巨視的断層構成則の微視的再構築	日本地震学会秋季大会, 九州大学	平成 16 年 10 月
久田嘉章	統計的グリーン関数法の震源域及び長周期帯域への拡張	日本地震工学会大会	平成 16 年 1 月 13 日
久田嘉章	統計的グリーン関数法の震源域及び長周期帯域への拡張	日本地震学会秋季大会	平成 16 年 10 月 10 日
井出哲・ 青地秀雄	フラクタルパッチモデルの動的破壊シミュレーション	日本地震学会秋季大会, A10, 福岡	平成 16 年 10 月 09 日
井出哲・小笠 原宏・飯尾能 久・山田卓司	南アフリカ金鉱山における半制御地震発生実験国際共同グループ, 南アフリカ金鉱山の地震波減衰速度構造と微小地震スケーリングへの影響, フラクタルパッチモデルの動的破壊シミュレーション	日本地震学会秋季大会, P024, 福岡	平成 16 年 10 月 09 日
S. Ide, M.Matsubara, K. Obara	Study of seismic energy scaling using high-sampling Hi-net data for the aftershocks of the 2000 Western Tottori, Japan, earthquake	Western Pacific Geophysical Meeting, Honolulu HI, USA, 2004/08/17.	平成 16 年 8 月 17 日
S. Ide, H. Aochi	Multiscale dynamic rupture simulation on fractal patch model	Western Pacific Geophysical Meeting, Honolulu HI, USA	平成 16 年 8 月 17 日
S. Ide	Scaling of fracture energy and earthquake dynamic rupture modeling	International Workshop: Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas, Tokyo,	平成16年 6月21日
Y.Kase	3D Rupture Dynamics Code - FDM, conventional grid,and split-node	3D Rupture Dynamics Code Validation Workshop, Palm Springs (USA),	平成16年 9月

Y. Kase, S. M. Day	Spontaneous rupture processes on a bending fault	AGU, fall meeting of the American Geophysical Union, San Francisco (USA)	平成 16 年 12 月
M. Mai, J. Ripperger, P. Spudich, J. Boatwright, G. Beroza, M. Guatteri	Merging dynamic rupture modeling and strong-motion prediction	International Workshop: Strong Ground Motion Prediction and Earthquake Tectonics in Urban Areas, Tokyo,	平成16年 6月21日
P. M. Mai,	SRCMOD - Database of finite-source rupture models	Annual Meeting of the Southern California Earthquake Center (SCEC), Palm Springs.	平成16年 9月
P. M. Mai, K.B. Olsen	Broadband simulation of ground motion from large earthquakes in the Los Angeles Basin	Annual Meeting of the Southern California Earthquake Center (SCEC), Palm Springs.	平成16年 9月
P.M.Mai, T.van Stiphout, T. Iwata (2004).	Analysis of slip-velocity functions in source rupture models: implications for near-source strong-motion modeling	地震学会秋季大会, B06, 福 岡	平成16年 10月
H. Miyake, P.M. Mai, G. C. Beroza (2004).	Pseudo-dynamic rupture characterization: insights from near-source ground motion simulations, and recent updates,	地震学会秋季大会, S08, 福 岡	平成16年 10月
T.Miyatake, T.Kimura	3D dynamic rupture simulations using finite difference model --- an improvement of the fault boundary condition in 3D staggered grid FDM	ACES meeting, 北京.	平成16年 6月

T. Mikumo, E.Fukuyama,	Static Stress Field on a Branched Fault System: The 1891 Nobi, Japan, Earthquake (M8.0)	AGU, Fall Meeting, S41A-0948	平成16年 12月
安田拓美・八木勇治・三雲健・宮武隆	動的モデル波形を用いた波形インバージョンによる D_c と D_c' の関係についての考察,	A016, 地震学会秋季大会 (九州大学)	平成16年 10月
T. Yasuda, T. Miyatake, Y.Yagi, 2004	Dynamic rupture simulation using the estimated slip-weakening distance distribution of the 2001 Geiyo, Japan, earthquake,	ACES meeting, 北京.	平成16年 6月
安田拓美・宮武隆	強震動シミュレーションのためのすべり速度時間関数の近似式 (3) 2001年芸予地震への応用	地震学会秋季大会 (九州大学), P70	平成16年 10月

3.3.7

著者	題名	発表先	発表年月日
駒場 信彦・山中浩明・山田伸之	微動アレイ観測による関東平野の3次元S波速度構造の構築	2005年地球惑星関連科学合同大会	平成17年 5月
山中浩明・山田伸之・駒場信彦	レイリー波の位相速度に基づく関東平野の3次元S波速度構造	第111回物理探査学会学術講演論文集, 65-66, 2004	平成16年 9月
H. Yamanaka, N.Komaba, N. Yamada	Estimation of 3D S-wave velocity model for the Kanto basin, Japan, for prediction of long-period strong ground motion,	Second International Conference on urban earthquake engineering, 227-232	平成17年 3月
古村孝志	新潟県中越地震と長周期地震動による関東平野の大揺れ	首都圏強振動総合ネットワーク (SK-net) 研究集会	平成17年 3月22日
佐藤浩章・山中浩明・古村孝志・早川崇・岡嶋眞一	関東平野における堆積層の速度構造の揺らぎの統計的性質	2005年地球惑星関連学会合同大会	平成17年 5月
T. Hayakawa, T. Sato	MODELING OF INHOMOGENEITY IN	13 th WCEE	平成16年 8月

	SEDIMENT LAYERS IN TOKYO METROPOLITAN AREA IN JAPAN FOR STRONG GROUND MOTION PREDICTION		
--	---	--	--

3.3.8

著者	題名	発表先	発表年月日
松岡昌志・若松 加寿江・藤本一 雄・翠川三郎	日本全国地形・地盤分類メッ シュマップによる地盤の平均 S波速度の推定	2004年度日本地震工学会 大会-2004	平成 17 年 1 月 12 日
藤本一雄・翠川 三郎	岩盤および地盤上の観測点ペ アの強震記録に基づく地盤増 幅度と地盤の平均 S 波速度の 関係	日本地震学会 2004 年秋 季大会	平成 16 年 10 月 11 日
川上洋介・久田 嘉章	広域地震動評価のための地盤 情報	社)物理探査学会 地震防 災シンポジウム 地震防 災と地盤—強震動予測の ための地盤探査の現状と 課題	平成 16 年 1 月
川上洋介・瀨瀨 一起・久田嘉章	地震観測記録より推定した関 東平野におけるサイト特性と 地形分類との関係	日本建築学会、学術講演 梗概集、構造Ⅱ	平成 16 年 9 月
久保智弘・久田嘉 章	国地形分類図による周波数特 性を考慮した表層地盤特性に ついて	日本建築学会、学術講演 梗概集、構造Ⅱ	平成 16 年 9 月
鄭炳表・久保智 弘・久田嘉章・ 畑山健・座間信 作	地震災害予測のための大都市 圏強震動シミュレータの開発 —50m メッシュ地形分類図と 周波数別増幅率マップ—	日本地震工学会大会、 2004 年梗概集、pp386-387	平成 17 年 1 月 13 日
川上洋介・金田 淳也・久田嘉章	周波数特性を考慮した関東平 野におけるサイト増幅特性	首都圏強震動総合ネット ワーク (SK-net) 研究集 会—震源・地下構造・地 震動生成メカニズムの研 究—	平成 17 年 3 月 22 日
内海直樹・中井 正一・石田理永	千葉市の表層地盤構造に関す る研究-地形・地盤情報デー タベースの構築とその応用-	第 39 回地盤工学研究発 表会	平成 16 年 7 月 7 日

3.3.9

著者	題名	発表先	発表年月日
鷹野澄・瀨瀬一起・工藤一嘉・古村孝志・山中佳子・ト部卓・土井恵治	首都圏強震動総合ネットワーク SK-net	記念シンポジウム「日本の強震観測 50 年」—歴史と展望—	平成 16 年 11 月 9 日
鷹野澄・伊藤貴盛・原徹夫	IT 強震計 —その概念と試作—	日本地震学会 2004 年秋季大会	平成 16 年 10 月 9 日
三宅弘恵・瀨瀬一起	2004 年紀伊半島南東沖地震による長周期地震動	日本地震学会 2004 年秋季大会	平成 16 年 10 月 10 日
H. Miyake, K. Koketsu	Long-period ground motions from a large offshore earthquake: The case of the 2004 off the Kii peninsula earthquake, Japan	Earth, Planets and Space	平成 17 年 5 月

3.3.10

著者	題名	発表先	発表年月日
K. Koketsu, R. Kobayashi, K. Hikima, C. Wu, Y. Ikegami	Rupture process inversions using 3-D Green's functions: Some subduction zone earthquake around Japan	2004 Western Pacific Geophysics Meeting	平成 16 年 8 月 18 日
小林励司・瀨瀬一起	相模トラフにおけるアスペリティモデル	日本地震学会 2004 年度秋季大会	平成 16 年 10 月 10 日
C. Wu, K. Koketsu, Y. Yamanaka, K. Hikima	Source rupture process of the 1978 Miyagi-oki earthquake inverted from strong motion data	日本地震学会 2004 年度秋季大会	平成 16 年 10 月 9 日
R. Kobayashi, K. Koketsu.	Source process of the 1923 Kanto earthquake inferred from historical geodetic, teleseismic, and strong motion data	Earth Planets Space	平成 17 年 4 月
田中康久・瀨瀬一起・三宅弘恵・古村孝志・佐藤比呂志・平	首都圏下の速度構造の大大特コミュニティモデル (1)	地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会	平成 17 年 5 月 25 日

田直・鈴木晴彦・増田徹			
室谷智子・三宅弘恵・瀧瀬一起	海溝型地震の不均質断層パラメータのスケーリング則	地球惑星科学関連学会 2005年合同大会	平成17年 5月26日

3.3.11

著者	題名	発表先	発表年月日
西上欽也・藤沢泉・田所敬一・儘田豊・土井一生・伊藤 潔・和田博夫	跡津川断層系の深部不均質構造の地震学的調査	地球惑星科学関連学会 合同大会	平成16年 5月12日
K. Nishigami, A. Jin	Crustal heterogeneity in active fault regions estimated by inversion of coda envelopes	2004 AGU Fall Meeting	平成16年 12月14日
K. Nishigami, Y. Mamada	Crustal Heterogeneity in the Source Region of the 2004 Mid Niigata Prefecture Earthquake: Analysis of Coda Envelopes and Fault-zone Trapped Waves	2005 AGU Spring Meeting	平成17年 5月
儘田豊・桑原保人 西上欽也・伊藤久男	断層破碎帯を伝播するS波初動走時パターンを用いた破碎帯下限の推定	地球惑星科学関連学会	平成16年 5月
Y. Mamada, Y. Kuwahara, K. Nishigami, H. Ito	A shallow fault low-velocity zone structure imaged by S-wave travel time analysis of dense linear array across the Mozumi-Sukenobu fault, central Japan	Western Pacific Geophysics Meeting	平成16年 8月
儘田豊・桑原保人・西上欽也・伊藤久男	断層で励起された地震波を用いた茂住一祐延断層の深部断層破碎帯構造の推定	日本地震学会 2004年度 秋季大会	平成16年 10月
Y. Mamada, Y. Kuwahara, K. Nishigami, H. Ito	Fault zone structure extending to seismogenic zone in depth direction inferred from the analysis of fault zone waves	AGU Fall Meeting	平成16年 12月
儘田豊・桑原保人・西上欽也		平成16年度京都大学防災研究所研究発表講演	平成17年 2月

伊藤久男		会	
T. Mizuno, K. Nishigami, H. Ito, Y. Kuwahara	Deep structure of the Mozumi-Sukenobu fault, central Japan, estimated from the subsurface array observation of fault zone trapped wave	Geophys. J. Int.,159, 622-642	平成 16 年 5 月
水野高志・伊藤久男・桑原保人	産総研平林観測点における断層トラップ波の解析	地球惑星科学関連 2004 年合同大会	平成 16 年 5 月 9 日
桑原保人・水野高志	断層トラップ波による非一様な断層破碎帯の深部構造解析	京都大学防災研究所 H16 研究発表講演会	平成 17 年 2 月 22 日
澁谷拓郎	再決定による震源の精密化と b 値の空間分布のマッピング - 1. 山崎断層 -	2004 年地球惑星科学関連学会合同学会	平成 16 年 5 月 10 日
片尾 浩・飯尾能久	丹波山地の微小地震の発震機構	京都大学防災研究所年報, 47, B, 673-677,	平成 16 年 4 月
伊藤 潔・和田博夫・大見士朗・ENESUCU, Bogdan	飛騨山脈の地震活動と地震発生層	地球惑星科学関連学会	2004 月 5 月
K. Ito, T. Ueno, B. Enescu, I. Hirose	Crustal structure and its relation to seismicity in Southwest Japan	11th International Symposium on Deep Structure of the Continents and their Margin Seismic(in Canada)	2004 月 9 月
T. Ueno, T. Shibutani, I. Doi, K. Ito	Lower crust and upper mantle structure in the region of the 2000 Western Tottori, Japan Earthquake estimated from receiver function analyses	AGU Fall meeting	2004 月 12 月
駒澤正夫・赤松純平	重力と脈動から見た京都盆地の基盤構造	物理探査学会第108回(春季)学術講演会	平成15年 5月
赤松純平・駒澤正夫	京都盆地の地盤震動特性と重力基盤	京都大学防災研究所年次講演会	平成15年 2月
M. Komazawa, K. Nakamura, K. Nishimura, J. Akamatsu, R. Shichi,	3D gravity basement structure associated with active faults in the middle part of Kinki District, west Japan	IUGG2003	平成 15 年 6 月

A. Yamamoto			
-------------	--	--	--

3.3.12

著者	題名	発表先	発表年月日
M. Hashimoto, K. Onoue, F. Ohya, Y. Hosono, S. Nishimura, K. Sato, Y. Fujita	Interplate Coupling Derived From the GPS Traverse Across the Hinge-Line in Kii Peninsula and its Tectonic Implication	Eos Trans. AGU, 85(28), West. Pac. Geophys. Suppl., Abstract, G32A-01	2004年 8月
橋本学・大谷文夫・尾上謙介・細善信・佐藤一敏・藤田安良	紀伊半島ヒンジライン GPS トラバース結果から推定されるプレート間カップリング	日本地震学会 2004 年度秋季大会（福岡市）	2004年 10月9日
橋本学・大谷文夫・尾上謙介・細善信・佐藤一敏・藤田安良	紀伊半島ヒンジライン GPS トラバース結果から推定されるプレート間カップリング	日本測地学会第 102 回講演会（小平市）	2004年 10月29日
M. Hashimoto , K.Onoue, F. Ohya, Y. Hosono, K. Sato, K. Segawa, Y. Fujita	Recent Crustal Deformations In Kii Peninsula, Southwest Japan Derived From Dense GPS Observations: Interplate Coupling And 2004 Earthquake Sequence SE Off Kii Peninsula	Eos Trans. AGU, 85(47), Fall Meet. Suppl., Abstract, G11A-0770	2004年 12月
橋本学・尾上謙介・大谷文夫・細善信・佐藤一敏・藤田安良・瀬川紘平	紀伊半島ヒンジライン GPS 観測：プレート間カップリングと 2004 年紀伊半島南東沖地震	平成 16 年度京都大学防災研究所研究発表講演会（京都市）	2004年 2月22日
M. Hashimoto, K. Onoue, F. Ohya, Y. Hosono, K.Segawa, K. Sato,	Crustal deformations in Kii peninsula associated with the SE off the Kii peninsula earthquake sequence of September 5, 2004 derived from dense GPS observations	Earth, Planets and Space, Vol.57, 1-6, 2005	2004年 3月

Y. Fujita			
田部井隆雄・渡部豪・宮崎真一・加藤輝之・平原和朗・木股文昭・鷺谷威、大田雄策・橋本学・荻原文恵・松島健・加藤佐代正	稠密 GPS 観測による西南日本横断地殻変動プロファイリング	日本測地学会第 102 回講演会、小平市	平成 16 年 10 月 29 日
T. Tabei, S. Miyazaki, M. Hashimoto, T. Matsushima, T. Kato, and S. Kato	Dense GPS array observations across the Nankai subduction zone, southwest Japan	American Geophysical Union 2004 Fall Meeting, San Francisco	平成 16 年 12 月 14 日
Jin, H., T. Kato, M. Hori	Estimation of slip distribution using an inverse method based on spectral decomposition of Green's function by GPS data	Journal of Geophysical Research	2005 年 8 月 (予定)
M. Hyodo, K. Hirahara	GeoFEM kinematic earthquake cycle simulation in southwest Japan	Pure and Applied Geophysics, 161, pp.2069-2090, 2004	平成 15 年 10 月
N. Mitsui, K. Hirahara	Simple spring-mass model simulation cycle along the Nankai trough, southwest Japan	Pure and Applied Geophysics, 161, pp.2433-2450, 2004	平成 15 年 10 月
平原和朗・光井能麻・西村宋・橋本学	単純セルモデルによる南海トラフ巨大地震および内陸地震の発生シミュレーションー半無限均質弾性体ー	日本地震学会予稿集、2004 年度秋季大会, A014	平成 15 年 10 月 9 日
光井能麻・平原和朗	スロースリップイベントとプレート形状の関係	日本地震学会予稿集、2004 年度秋季大会 P012	平成 15 年 10 月 9 日
井戸悠・川崎一朗・見野和夫・小笠原宏	IRIS ネットワークの長周期地震計記録を用いたスロースリップイベントの検出の試み	地球惑星科学関連学会 2004 年合同大会、主催：地球惑星科学合同大会運営機構	2004 年 5 月 11 日
丹保繁和・西村宗・川方裕則・	GEONET の GPS 水平成分と上下成分を用いた西南日本のすべ	地球惑星科学関連学会 2004 年合同大会、主催：	2004 年 5 月 12 日

川崎一朗	り欠損分布	地球惑星科学合同大会運営機構	
I. Hirose, I. Kawasaki	Temporal Variations of Major Tidal Constituents Prior to Large Earthquakes	2004 Western Pacific Geophysics Meeting, 主催：アメリカ地球物理連合	2004年 8月19日
白玲・川崎一朗・石川有三	DD法とJMAカタログによる西南日本の地震の震源再決定	日本地震学会講演予稿集 秋季大会、主催：地震学会	2004年 10月24日
工藤 健・山本明彦・古本宗充・志知龍一	西南～中部日本における重力異常 Roughness の地域変化	地球惑星科学関連学会 2004年合同大会	平成16年 5月
古本宗充	後氷期の海水準変動にともなった断層活動の活発化	地球惑星科学関連学会 2004年合同大会	平成16年 5月
T. Kudo, A. Yamamoto, T. Nohara, H. Kinoshita, R. Shichi	Variations of gravity anomaly roughness in Chugoku District, Japan: Relationship with distributions of topographic lineaments.	Earth, Planets and Space, 56, e5-e8	平成16年 6月
T. Tanaka, H. Aoki	Absolute Gravity Measurement in Mizunami, Central Japan - Installation and Mysterious Gravity Change-	Western Pacific Geophysics Meeting	平成16年 8月
T. Tanaka, W. Salden, Y. Asai, Y. Fujita, H. Aoki	The relationship between absolute gravity and pore water pressure variations at the Mizunami Underground Research Institute construction site, central Japan.	投稿中	平成17年 2月

3.3.13

著者	題名	発表先	発表年月日
H. Bhat, R. Dmowska, R. Rice, N. Kame	Dynamic slip transfer from the Denali to the Totschunda faults, Alaska: testing theory for fault branching	Bulletin of the Seismological Society of America 94, S202-S213, 2004.	Dec. 2004
内田浩二・亀 伸樹	分岐断層力学モデルの地震波放射	地震、第57巻 377-385, 2005.	2005年2月

N. Kame	Quasi-static Modeling of Non-planar Crack Growth With/without Open Kinks	American Geophysical Union Fall Meeting	16, Dec. 2004
K. Uchida, N. Kame	Seismic Wave Radiation of Dynamic Rupture in Branched Fault Modeling	American Geophysical Union Fall Meeting	16, Dec. 2004
亀 伸樹	断層面形状の複雑化を考慮に入れた地震破壊ダイナミクスの理論的研究	日本地震学会秋季大会	2004年 10月09日
内田浩二・亀 伸樹	分岐断層力学モデルの地震波放射	日本地震学会秋季大会	2004年 10月09日
H. Bhat, R. Dmowska, R. Rice, N. Kame	Dynamic slip transfer from the Denali to the Totschunda faults, Alaska: testing theory for fault branching,	地球惑星科学合同大会	2004年 5月12日
後藤浩之・澤田純男	拡張カルマンフィルタによる震源動力学的パラメータの直接インバージョンの試み	地球惑星科学関連学会 2004年合同大会	平成16年 5月12日
後藤浩之・澤田純男	フィルタリングアルゴリズムによる震源動力学的パラメータの直接インバージョンの試み	日本地震学会 2004年秋 季大会	平成16年 10月10日
M. Miyazawa, J. Mori, Y. Iio, T. Shibutani, S. Matsumoto, H. Katao, S. Ohmi, K. Nishigami	Triggering sequence of large aftershocks of the Niiggata-Chuetsu, Japan, earthquake by static stress changes	submitted to Earth, Planets and Space	
J. Mori, P. Somerville	2004 Niigata-ken Chuetsu earthquake – Seismology and strong ground motions	submitted to Earthquake Spectra	2005年
K. Sato, J. Mori	Relationship between rupture process complexity and earthquake size	submitted to J. Geophys. Res	2005年
泉谷恭男	日本内陸で発生する浅い地震に関する震源スペクトルの相似性についての考察	土木学会論文集 No. 780/I-70	平成17年 1月

寛 楽麿	震源過程が地震波形に与える影響 (2)	地球惑星科学関連学会合同大会	平成 16 年 5 月 10 日
西條裕介・寛 楽麿	スラブ内地震による強震動と島弧の構造：2003 年宮城県沖地震の強震データの解析	日本地震学会秋季大会	平成 16 年 10 月 10 日
Y. Kakehi	Analysis of the 2001 Geiyo, Japan, earthquake using high-density strong ground motion data: Detailed rupture process of a slab earthquake in a medium with a large velocity contrast	Journal of Geophysical Research	平成 16 年 8 月
T. Kimura, Y. Kakehi	Source process of the 2001 Hyogo-ken Hokubu, Japan, earthquake (Mw 5.2) and comparison between the aftershock activity and the static stress change	Bulletin of Seismological Society of America	平成 17 年 3 月
T. Maeda, T. Sasatani	Upper mantle attenuation structure beneath the eastern Hokkaido, Japan and its effects on strong ground motions	Proceedings of the 13th World Conference on Earthquake Engineering, CD-ROM, 914,	August 1-6, 2004
川瀬博・松尾秀典	K-NET, KiK-Net, JMA 震度計観測網による強震記録から分離したサイト増幅特性と S 波速度構造との対応	日本地震工学会論文集, 第 4 巻, 第 4 号, 126-145, 2004	平成 16 年 9 月 1 日
H. Kawase, H. Matsuo	Amplification Characteristics of K-NET, KiK-NET, and JMA Shindokey Network Sites Based on the Spectral Inversion Technique	13th World Conference on Earthquake Engineering, Vancouver, Canada, Paper No. 454, 2004.8.	平成 16 年 8 月 1 日
大西良広・堀家正則	震源近傍での地震動予測のため拡張統計的グリーン関数法とそのハイブリッド法への適用に関するコメント	日本建築学会構造系論文集 第 586 号 pp37-44	平成 16 年 12 月
Y. Onishi, M. Horike, Y. Kawamoto	A method for simulating three-component, near-field, strong ground motions using the stochastic Green's function	13 th world conference on earthquake engineering, Bancouver, B.C., Canada	August, 3, 2004

山田伸之・岩田知孝	京都・大阪周辺の強震観測網で得られた長周期地震動記録のアレキ解析	日本地震学会 2004 年度秋季大会	2004 年 10 月 11 日
岩田知孝・浅野公之・山田伸之・鈴木 亘	2004 年 9 月 5 日紀伊半島南東沖地震による長周期地震動	日本地震学会 2004 年度秋季大会	2004 年 10 月 10 日
N. Yamada, T. Iwata	Long-period ground motion simulation in the Kinki area during the M _{7.1} foreshock of the 2004 off the Kii peninsula earthquakes	Earth, Planets and Space, Vol. 57, 197-202.	2005 年
H. Kawabe, K. Kamae	IMPROVEMENT OF 3-DIMENSIONAL BASIN STRUCTURE MODEL USING GROUND MOTION RECORDINGS	13th World Conference on Earthquake Engineering Vancouver, B.C., Canada.	平成 16 年 8 月 3 日
K. Kamae, H. Kawabe, K. Irikura	STRONG GROUND MOTION PREDICTION FOR HUGE SUBDUCTION EARTHQUAKES USING A CHARACTERIZED SOURCE MODEL AND SEVERAL SIMULATION TECHNIQUES	13th World Conference on Earthquake Engineering Vancouver, B.C., Canada.	平成 16 年 8 月 5 日
川辺秀憲・釜江克宏	長周期地震動評価のための Q _s 値の周期依存性に関する検討	日本地震学会 2004 年度秋季大会	平成 16 年 10 月 10 日
長郁夫・岩田知孝・鶴来雅人・香川敬生	広帯域な強震動評価のために有効な堆積層地盤モデルーサイト増幅スペクトル, 応答波形エンベロープ, 表面波特性の理論評価ー	地球惑星科学関連学会合同大会	2005 年 5 月
源田考司・藤原悌三・松波孝治	大津市膳所地区の基盤構造の推定	第 23 回日本自然災害学会	平成 16 年 9 月 14 日
源田考司	琵琶湖西岸断層帯を想定した大津市の地震被害想定	滋賀県立大学・環境科学研究科・環境計画学専攻・平成 16 年度修士論文梗概集	平成 17 年 2 月 18 日